

みんなでつくる、未来へつなぐ。  
あふれる笑顔、びらとり。

広  
報

# びらとり

2020

4

No.693



平取町木育推進事業「ウッドピリカ」

# 令和2年度 町政執行方針 (要約版)

令和2年度第2回町議会定例会が3月2日(月)に召集され、川上町長が町政、庄野教育長が教育行政のそれぞれ令和2年度執行方針について説明しました。本誌ではその概要のみをお知らせします。詳細な全文は町ホームページにてご覧ください。



町長 川上 満

私はこれまで「町民が健康で豊かに安心して暮らせる町づくり」を目指して全力投球してまいりました。政治や経済が大きく変動する中で、平取町を取り巻く環境は厳しい状況にあり、これまで様々な問題に直面しましたが、皆さまの暖かいご協力を賜りながら、町政を着実に前に進めることができましたことに対し、心から感謝を申し上げる次第です。

今後も、自立への道をさらに強化するために、産業の振興、交流人口の拡大、介護や福祉の充実、健全な財政運営など、財産である「豊かな自然と輝く大地」を次の世代へしっかりと引き継ぐために最善を尽くす所存です。

私は、本年7月2日をもって任期満了となります。昨年12月の町議会定例会において、4期目への立ちはしらないことを表明いたしました。本来であれば令和2年度予算については、骨格予算で臨むべきところですが、第6次総合計画に基づく事業等を新年度のスタートと同時に実施していくことが、地域経済対策の観点からも肝要と考え、令和2年度各会計予算を編成したところであります。

## 保健・健康づくり 医療の確保

「自分の健康は、自分でつくり、自分で守る」という、健康意識を高め、自ら積極的に健康管理が行えるよう、町民向けの各種講演会の開催のほか、総合的な健康づくりを推進し、生涯にわたる健康で安心して生活ができる保健事業の充実を図ります。

医師体制は、3名の常勤医師による診療体制と非常勤医師による専門診療の循環器内科、皮膚科、「ものわすれ外来」、令和元年度から開始した眼科も含め診療を継続します。外部医師の応援を得ながら、救急医療体制を維持し、常勤医師の勤務負担の軽減も図り、継続的な診療体制の維持に努めてまいります。

## 子育て支援

「第2期平取町子ども子育て支援事業計画」に基づき、乳幼児期から学校卒業まで長期的な視点で支援します。妊婦健診・親子教室・乳幼児健診・各種予防接種のほか、新たに産婦健診・産後ケア事業などを追加し、「すこやか赤ちゃん誕生祝い金」の支給や一般・特定不妊治療に係る助成事業を継続します。

保育料については、国が実施する幼児教育・保育の無償化に該当しない世帯に対し、当町の独自施策として無償化を実施します。



子ども食堂

## 高齢者支援・障がい者支援

交流サロンの拡充や足の確保としての移動支援、ボランティア活動の普及啓発など、健康づくりと連



体幹トレーニング

動した介護予防事業を実施します。

在宅医療・介護連携推進事業を推進し、認知症総合支援事業を拡充するほか、「平取町社会福祉協議会」を中核組織とする成年後見制度の利用促進を強化し、在宅支援の充実を図ります。

障がい者の方々が自立した日常生活および社会生活を安心して営むことができるよう、「第5期平取町障がい福祉計画」および「第1期障がい児福祉計画」に基づき、各種障害福祉サービスの提供に努めます。

け、同計画に位置付けられた事業の実施に要する経費に対して、交付金制度の活用が認められました。

「平取町アイヌ総合政策推進基本計画」を指針とし、「平取町アイヌ施策推進地域計画」との整合性をもち、アイヌ文化の振興をはじめとした総合的な政策を進めてまいります。

アイヌ民族文化財団から受託する「伝承者育成事業」については、地域性を生かした研修プログラムを実施してまいります。

アイヌ文化の伝承者を目指す若年層の育成研修、アイヌ文化を学ぶことができない場所、アイヌ文化の環境調査や保全対策業務を行う機能を有する複合施設「イオル文化交流センター」の整備を進めます。

イオル再生事業については、新たに設立した「平取町アイヌ文化振興公社」に事業を委託し、「コタン」の再現空間「イオルの森」・「水辺空間」の拡大・拡充を図り、平取町独自の事業展開を進めてまいります。

「シリムカ文化大学講座」の拡充、現地体験宿泊型「大地連携ワークシヨップ」の取り組みを進めます。

従来のアイヌ工芸品に加え、新たな視点からのアプ

## アイヌ文化の振興

アイヌ民族を先住民族として初めて法的に位置づけ、従来のアイヌ文化振興施策・生活上施策に加え、地域・産業・観光振興等を含めた施策を総合的に効果的に推進することが可能となる「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」が令和元年5月に施行され、その取り組みを支援することを目的にアイヌ政策推進交付金が創設されました。平取町では、「平取町アイヌ施策推進地域計画」を策定し、令和元年9月に国の認定を受

## 平取町アイヌ工芸伝承館



国際先住民族フォーラム

ローチとして、現代的なデザインナーとのコラボレーションを進め、新商品の開発や販売拠点の開設など新たな発展に向けた取り組みを進めます。

「ウレシバ」での伝統工芸品の製作過程の実演やレーザー彫刻機を使った製作体験などを行い、新たな工芸品の開発・製作の場として、引き続き施設の有効活用を図ります。

アイヌ語のイランカラプテを普及させるキャンペーンの一環として、平成29年より開催されているイランカラプテ音楽祭については、第4回を当町で実施し、国内外の音楽家の出演や古式舞踊の披露などアイヌ文化の普及啓発を図ります。



アイヌ工芸伝承館の様子

## 地域福祉

民生委員児童委員、保護司会、協力事業所などの地域福祉活動の輪を広げ、平取町社会福祉協議会や各関係団体との連携を密接にしなが、総合的な福祉の向上に努めます。「ボランティアポイント制度」、「社会福祉パス」の運行を引き続き実施します。

## 農業の振興

安心して研修・営農生活を送られるよう農業者就農促進対策事業、新規参入者就農促進対策事業および国の農業次世代人材投資資金など、各種補助事業を活用して、新主要都市で開催される新規就農相談会等への参加、インターネット上の情報発信の強化、規参入者や担い手の育

成・確保に努めます。

「平取町産地パワーアップ計画」に基づき、ハウス内にICT先端技術を導入し、栽培データの効率的な管理を行い、作業の省力化と経営コストの縮減による収益力・生産性の向上を目指す農業者を支援します。

「トマトの里構想」については、「新規参入者・担い手確保」をはじめ「びらとりトマト」を通じてまちの魅力を発信します。

「経営所得安定対策事業」、「環境保全型農業直接支払交付金事業」など、安定的な農産物の生産と農所得の向上支援に努め、需要に応じた美味しく売れる米づくりを応援します。

水田面積の維持・増加に向け、加工用米の作付けを推進する集落営農体制強化支援事業を実施します。

今年度から、地域の農業水利施設維持管理組合等、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理を共同活動する組織に対し、「多面的機能支払交付金制度」を活用、支援を実施します。

「優良肉用牛繁殖雌牛定着化事業」「繁殖素牛導入事業」「肥育牛上物出荷支援金交付事業」を継続し、農業経営の支援に努めます。「肥育牛拡大計画」に基

づき、畜産公社の健全経営を進め、放牧管理体制を強化、農業者の自給飼料の確保や労働力不足の解消、家畜の健全育成に努めます。畜産クラスター事業、乳牛検定組合・SARU酪農ヘルパー組合に対する支援を継続してまいります。平取町軽種馬振興会が主管する「ホッカイドウ競馬びらとりDAY」の開催支援など、平取産馬の販売向上に努めます。



ホッカイドウ競馬  
びらとりDAY

### 林業の振興

「平取町における森林環境譲与税の活用に向けた基本方針」に基づき、「普及啓発」「新たな森林管理システムによる民有林の森林整備の推進」「木材利用の促進」を実施します。引き続き、「道オユンベ線」改良事業、北海道胆振



デマンドバス

### 上水道事業

継続事業として貫気別地区の配水管整備、「去場地区配水管整備事業」を引き続き実施します。生活雑排水事業について、継続事業として「本町地区の区域拡張工事」、新規に「池壳雑排水処理施設の改修工事」を実施します。

### アイヌ文化環境 保全対策事業

北海道開発局から引き継ぎ「沙流川流域地域文化調査業務」を受託し、文化環境の保全対策に取り組みます。

### 町民生活の向上

防犯灯や街路灯のLED化を推し進めるため、設置を希望する自治会に対する補助を継続して行います。

東部地震において被害を受けた「奥地林道ヌタツブ線および二風谷線」の通行確保に向け事業を実施します。新たに「その他林道敷舎内線の改良工事」を進めてまいります。「ウッドトイふれあい事業」によるお子様を対象に木製おもちゃなどを贈呈、事業や木製遊具の貸出しを行う「木育広場事業」により、町民の森林に関する理解促進に取り組めます。



グリーンフェスティバル

### 商工業の振興

子育て支援とタイアップした金券発行事業、店舗改装事業、空き店舗の改修事業、地域商品券事業、商店街美化事業、地元購買促進事業などを引き続き実施します。平取町起業化支援制度

### 防災体制について

「平取町防災情報メール」システムの登録の普及に努めてまいります。「要援護者・要支援者システム」の活用に向け、地域と連携しながら災害時の避難行動の構築に努めます。



防災キャンプ

### 公共治山事業

「貫気別丸山地先の山林」に谷止工を設置し、流域の機能回復を図ります。治山施設について計画的な整備が図られるよう関係機関等に要請します。

### 消防・救急体制

令和2年度において、消防ポンプ自動車と資器材の更新、火災防ぎよ体制の充実強化を図ります。

### 観光の振興

「すずらん観賞会」、「チブサンケ」、「沙流川まつり」、「全道PKグランプリ」は、道内外での認知度が高まっており、令和2年度もこれらのイベントを柱として、観光資源を活かした町のPRに努めます。「びらとり温泉「ゆから」」、「二風谷コタン」と博物館の周辺施設と一体的、有機的に活用し、交流人口の増加と地域経済力を高める観光地域づくりを推進します。観光協会のあり方や運営について協議し、観光協会の法人化に向けた方向性を令和2年度中に決定していきます。

「広域連携DMO」による広域観光地域づくりを推進します。返礼品の内容の充実、特産品の開発や掘り起こし、リピーターの確保を図り「ふるさと納税」の拡充に努めます。幌尻岳は、渡渉が魅力であると同時に事故の危険性もあるため、登山者への注意喚起に努めながら対応してまいります。

「ニセウエコランド」炊事棟の塗装工事を実施します。今後も計画的な整備を進めながら、環境にやさしい施設運営に努めます。



チブサンケ舟おろし

### 雇用対策

勤労者生活安定資金について、継続してまいります。労働講座等の開催も引き続き支援します。

### 土地利用の促進

二風谷分譲宅地「レラの里」の募集を引き続き実施します。国保病院の跡地の有効活用や本町地区の公共施設などの配置計画について、優先順位も含めた具体的な整備方針を庁内プロジェクト会議において検討してまいります。

### 住宅の整備

本町地区の公営住宅建設のための実施設計を行います。「平取町住宅リフォーム促進事業」に基づく助成は、引き続き制度を継続します。「民間賃貸集合住宅整備費助成制度」を継続してまいります。



多機能消防車

### 環境対策

「平取町バイオマス産業都市構想」に基づき、令和2年度において公共施設へバイオマスボイラー等を導入し、地域経済の循環と地域産業の創出を図る

### 協働のまちづくり

「町民税1%まちづくり事業」を引き続き募集します。月2回を基本とした「まちだより」の発行を継続し

### 生活基盤の整備

令和2年度の町道整備については、川向町界線の舗装新設工事を引き続き実施し、新規事業として「二風谷作業場線改良舗装工事」に着手します。橋梁については、「仁世宇1号橋架換工事」として下部工1基、上部工製作、護岸工等を継続施工します。河川整備については、平取第二川等の堆積土砂の除去を実施し、継続事業として「長知内ヤマダの沢改修工事」と新規に「オサツナイ沢河川整備工事」に着手します。

国道・道道整備については、引き続き関係機関等に強く要請活動をします。「宿主別振内停車場線拡幅改良事業」について、早期完成を引き続き強く要請をします。地域公共交通の確保については、平取町地域公共交通活性化協議会の検討、総合連携計画に基づき、本町・振内地区におけるデマンドバスなどの運行を実施します。路線バス・デマンドバス・スクールバス・社会福祉バスなどの様々な交通手段が、効率的でニーズにあった交通体系となるよう検討を進めます。

### 行政運営

「第5次行政財政改革大綱」を基軸とした、持続可能な行政の構築に努めます。事務事業ごとの必要な広域行政のあり方について引き続き検討します。

### 財政運営

財政健全化法に基づく健全化判断指標を公開し、これらと総合計画における財政調整基金の残高確保を予算運営の指針としながら、健全な財政運営に努めてまいります。

以上、令和2年度の町政執行にあたり、主な所信を申し上げます。地方自治体を取りまく環境は、非常に厳しいものがあります。が、町民の皆さま、町議会議員の皆さまのなごり、ご理解とご協力を心からお願い申し上げます。「令和2年度町政執行方針」といたします。

# 教育行政執行方針（要約版）



教育長 庄野 剛

はじめに  
教育を取り巻く状況は、大きな変革の時期を迎えております。

戦後最大といわれる学習指導要領の改訂がなされ、今年度より小学校が、来年度からは中学校がそれぞれ新たな学習指導要領により教育が進められます。平取町は今、120年という節目を迎え、次の時代に向けた新しい一歩を踏み出したところであり、これまで培われた文化や開拓精神を今に活かし、次の世代に引き継いでいくことが平取町を支えていくことであると考え、「平取町の歴史風土や文化を愛する心豊かな人づくりをめざして」を基本理念とする平取町教育推進計画に基づき、子どもたち一人ひとりが夢と希望を持つことのできる学校教育の充実と、活力ある

るまちづくりを進めるため人材の育成に寄与することのできる生涯学習社会の構築に努めてまいります。

## 教育行政に臨む基本姿勢

教育行政における責任体制の明確化、教育委員会の審議の活性化、迅速な危機管理体制の構築並びに町行政との意思疎通を図り、地域の民意を代表する議会との連携を柱として教育行政を進めてまいります。学校教育においては、子どもたちの資質、能力を育成していくとともに、健康な身体および豊かな心を育むため規範意識や道徳心の育成に努めてまいります。社会教育においては、各年齢層に応じた学習活動や伝統文化などの体験活動の充実、異世代間交流の機会の提供、人づくり・地域づくりにつながる生涯学習事業を推進してまいります。社会体育においては、スポーツが町民の生活により身近なものとなっていくために、だれもが日常的に身体を動かし、気軽に楽しむことができるような事業を展開し、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化を推進してまいります。図書館においては求められる各種の資料および情報の提供と、子どもの読書活動を推進するための環境整備に努めるとともに、併せて施設の利用促進を図ってまいります。文化財関連においては、地方文化財保護行政を進めるとともに、白老にオーブンを「民族共生象徴空間（ウポポイ）」の広域関連施設としても平取町が果たす役割は大きいことから、アイヌ文化の振興をはじめ、有形・無形の様々な文化財をこれまで以上に活用するよう普及啓発に努めてまいります。

## 1 生きる力を育む学校教育の推進

①教育内容の充実  
学校教育においては、全国学力・学習状況調査への参加と町独自で行う標準学力検査の調査結果の分析・検証を行い、子どもたちの特性を活かした学習指導を行います。情報教育（ICT教育）の推進について、児童生徒一人ひとりが学習用コンピュータを持ち、充実したプログラミング教育を受



わくわくドキドキ！冬休み理科教室

けられる環境の実現を目指し、各学校における高速大容量ネットワークの整備に努めてまいります。

## ②豊かな人間性と心身の健全な成長を育む教育の推進

P.T.A.を対象とした家庭教育学級での研修および研究指定事業における公開授業を引き続き実施し、道徳教育に求められる期待と役割を十分に果たす取り組みを進めます。

## 2 地域に信頼され共に歩む学校教育の推進

①学校運営の強化充実  
創意ある教育活動の推進を図ります。へき地・複式教育の充実や、指導体制の確立、教職員の授業力向上を図るとともに、指導内容の工夫、教職員研修の支援に努めてまいります。

## ③学校の適正配置

平取町学校教育条件整備方針に基づき、児童生徒数の将来推計を踏まえ、適切な教育環境の確保が図られるよう、地域事情等を考慮する中で検討します。



紫雲古津小学校児童総会

## ④安全・安心な教育環境の整備

就学援助制度を運用し、適切な支援を実施するとともに、奨学資金貸付制度を継続し、高校および大学等への進学者が安心して学べる教育環境の整備に努めます。学校施設・設備の充実について、二風谷小学校校舎大規模改修工事、紫雲古津小学校および貫気別小学校の校舎LED照明整備を実施します。

## ④平取高等学校の振興発展

高校存続のため、平取高等学校および平取高等学校

振興支援協議会と連携し、特色ある教育活動のサポートとともに、生徒確保に対する取組、生徒・保護者への支援を継続します。公営塾をさらにPRし、支援に努めてまいります。

## 3 潤いと活気のある地域づくりをめざす生涯学習の推進

①家庭・幼児教育の充実  
家庭教育・幼児教育に関する情報提供、学習機会の提供や家庭教育学級の開設等、地域と連携した支援をしてまいります。

## ②青少年教育の充実と健全育成の推進

伝統的な芸術・文化や自然などの体験学習活動や、異世代間交流事業を展開します。青少年国際交流事業として、ニュージブラントと平取町の子どもの相互派遣を行い語学学習や異文化との交流を図ります。

## ③成人教育の充実

自己の生活を充実させ、地域とのつながりを強くするためには、様々な学習活動や地域活動等への積極的な参加が重要となることから、地域課題や多様化するニーズに対応する学習機会を提供してまいります。

## 4 芸術文化活動の活性化と創造

①芸術文化活動の振興  
「わくわく感動体験ツアー」、「児童・生徒芸術劇場」を継続開催してまいります。町民芸術劇場として、わらび座ミュージカル「松浦武四郎―カイ・大地との約束―」を開催します。

## 5 生涯にわたるスポーツが楽しめる環境の形成

①地域に根ざしたスポーツ振興の推進  
スポーツ実施率向上のため、体力や年齢、性別、障がいの有無に関わらず、町民の誰もがスポーツに親しめるきっかけづくりを推進するとともに、スポーツ観戦ツアー等の「観る」スポーツや、活動支援などの「支える」スポーツに取り組めるよう努めてまいります。各種スポーツ大会および実技講習会、指導者研修会等を開催し、指導者の確保やスポーツの競技力向上および環境づくりに努めます。

## 6 本の魅力と共に知識・教養を高める図書館活動の充実

## ①読書活動の推進と資料提供の充実

町民のニーズを適切に把握し、資料および情報の確かな収集・整理および利用に努めます。学校・保育所等に対する団体貸出や、移動図書館の運行を実施します。図書ボランティア協力の元、絵本の読み聞かせなどの事業を実施し、子どもたちの読書週間の確立を図ります。



スキー教室

## 7 郷土の財産である文化財の保護と活用

①アイヌ文化の振興  
「二風谷コタン」を中心とした事業展開を押し進め、各種情報媒体を積極的に活用しながら、魅力ある博物館情報を発信します。

本年は白老町に「民族共生象徴空間（ウポポイ）」がオープンします。当町としても博物館を含めた二風谷コタンのPRに力を注ぎ、「広域関連区域」としての機能強化と来館者の増加を目指します。昨年5月に施行された「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」に基づき、交付金を活用した事業の拡大を図ります。平取アイヌ文化保存会、二風谷アイヌ語教室等の伝承活動団体の活性化と伝承者の人材育成・支援について、これまで同様適切な指導援助を行います。

## ②有形・無形文化財等の保護と活用

当町には国指定の重要な民俗文化財として、貴重な文化財が数多く存在しております。重要な文化的景観については、第三次の追加選定を受けており、一層の普及啓発を図りながら、適切な保護と観光客増につながる活用に努め文化財を活かした町づくりを進めてまいります。

## ③埋蔵文化財の保護と活用

埋蔵文化財の保護と活用について、計画段階から相

談や事前協議の必要性について、理解を求めつつ、これまでの発掘調査によつて出土した遺物については、北海道の有形文化財に指定されている「二風谷遺跡群出土品」をはじめ、その重要性の意義について積極的に普及啓発に努めます。埋蔵文化財を保管・展示する沙流川歴史館については、館内外の一部改修や修繕が実施されることとなりましたので、工事中利用者に不便をかける事のないよう努めてまいります。

## ④開拓財産の保存と活用

農機具、生活用具等の開拓財産が、旧荷負小学校から一般公開されております。見学者が増加するよう積極的に周知してまいります。

教育委員会は、町および関係機関と連携を図り、様々な教育課題に対応し、平取町の未来を担う子どもたちの教育の充実に努めるとともに、生涯にわたる生きがいと心の豊かさを求め、潤いと活気のある地域づくりに寄与する町民を積極的に支援する、「生涯学習のまちづくり」を目指してまいります。

## 小・中学校教職員21名に辞令交付

4月2日（木）の「令和2年度平取町教職員辞令交付式」において、新たに平取町に赴任された小・中学校教職員21名に対し、教育長より辞令が交付されました。

教育長からの挨拶では、教育を取り巻く課題、新型コロナウイルスへの対応などについて話があり、学校・家庭および地域が連携し、教育活動のさらなる充実が図られるよう頑張ってもらい、激励の言葉が贈られました。



【後列左から】 山村 麻美 教諭（振内中） 丸田 剛佑 教諭（平取中） 野村 鳳斗 教諭（平取中）  
 【前列左から】 二本柳 潔 教諭（振内中） 名田 律子 養護教諭（振内中） 横内 美幸 事務職員（振内中） 粥川 昇 教諭（貫気別小）



【後列左から】 川西 祐輝 教頭（振内中） 古賀 雄幸 教諭（紫雲古津小） 水橋 理恵子 教諭（紫雲古津小）  
 【前列左から】 横山 隆也 教頭（紫雲古津小） 金光 宏明 校長（二風谷小） 堀 伸司 校長（貫気別小） 會田 大祐 校長（平取中）



【後列左から】 松田 諒 教諭（平取中） 川岸 奈央 教諭（平取中） 荒木 麻衣 教諭（貫気別小）  
 【前列左から】 金崎 貴之 教諭（平取中） 古賀 敏江 教諭（平取小） 今野 淳子 教諭（平取小） 本間 涼華 教諭（貫気別小）

### 緊急事態宣言のため 学校が休業しました

2月27日（木）より新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一斉休校が続いていた町内小・中学校が4月から再開されましたが、4月20日（月）再び臨時休業となりました。

今後、子どもたちを感染のリスクから守るため、教室の換気や手洗い・うがいが徹底されます。ご家庭でも、児童・生徒の体温測定、風邪などの症状がある場合は学校を休ませるなどの対応をお願いします。

### 新年度のスタートにあたって

4月初旬の新入学や進級から、新しい環境にもそろそろ慣れてきたのと同時に、疲れもたまってきたのではないのでしょうか。

長期間の休みがあったため、生活のリズムを取り戻すのに時間がかかると思います。学校がある日と同じように、土曜日や日曜日も規則正しい生活を送ることが大切です。特に小学校低学年や保育園

児にとっては、家庭での支援が一番大切です。一日のできごとなどをじっくりと聞いてあげること、不安を取り除かれ、安らぎの時間が共有されます。それだけで子どもは安心できるものです。

そして、時には背中をポンと押してあげること、必要です。新しい環境に慣れ、充実した生活を送っていく中で、また新たな不安も生まれてきます。それらを解決すること、子どもは成長していきます。時には失敗もしますが、成長のための大きな経験と捉え、自分を振り返る機会としていきましょう。

今年度も、学校は「家庭と地域との連携」をキーワードとし、児童生徒の育成に力を注いでいきます。双方向での連携により、温かく成長を見守り、支援していく姿勢を継続していきましょう。

困ったことがあればまずは学校に相談を！一人で悩まず、関係機関と連携し対応することも大切です。

## 消防庁長官表彰 永年勤続功労章 (3/26)



平取町役場本庁舎において平取消防団振内分団長 奥村 寛行 氏(振内町)が、消防功労者消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章され、日高西部消防組合副管理者より表彰状等が伝達されました。

奥村氏は、昭和53年12月21日に平取消防団入団以来、日夜火災予防や防火思想の普及に寄与された功績が讃えられ、今回の受章となりました。心よりお祝い申し上げます。

## 平取町木育推進事業ウッドピリカ ウッドトイ贈呈式 (3/18)



1歳になるお子さんにウッドトイ(木のおもちゃ)が贈呈されました。

令和元年度より国から各市町村に配分されている「森林環境譲与税」を活用し、幼少期から木に触れることで豊かな心を育み、健全な成長を促すことを目的とした平取町のあらたな木育推進事業「ウッドピリカ」を始めました。

この事業では、「木製ドミノ」「積み木」「いす」「車のおもちゃ」の4種類のウッドトイから1つを選んで受け取ることができます。

記念すべき最初の受贈者の齊藤 璃くん(去場)が、お母さんの梨菜さんと一緒に選んだ「木製ドミノ」を町長から受け取りました。

璃くんは、ドミノを気に入ってくれたようで、毎日、お姉さん達と一緒に、木の温もりに触れながら遊んでいるそうです。

## 令和2年度新規採用職員

4月1日付けで新採用となった職員6名を紹介します。1日でも早く職場環境に慣れ町民の皆さんのお役に立てるよう頑張りますので、よろしくをお願いします。



総務課 総務係  
野島 健多郎



観光商工課 商工労働係  
鎌田 祐樹



農業委員会事務局(農地係)  
藤本 朝陽



建設水道課 土木用地係  
鹿戸 亮晃



保健福祉課 保健推進係(保健師)  
澤口 成美



町民課 保健医療係  
香川 勇斗

## 新1年生に「防犯ブザー」 「愛の鈴」を贈呈 (4/3)



町内の新1年生41名に、今年も「防犯ブザー」と「愛の鈴」が贈呈されました。  
毎年、入学式の日には各小学校で手渡されていますが、新型コロナウイルス対策のため、中央公民館において事前に町教育委員会が預かり、各小学校へ配付されました。  
平取町自治振興会 原田 重夫 会長から「防犯ブザー」が、続いて平取町商工会の仲山 美枝子 女性部長から「愛の鈴」が教育長へ手渡されました。  
「防犯ブザー」と「愛の鈴」は、子どもたちの登下校の安全を願って毎年贈呈されています。  
温かい心遣いに感謝いたします。

## マスク寄贈 (4/6)



ボランティアで定期的に「子ども食堂」を開催している「びらとりふれあい子ども食堂」(代表 赤石 和子 氏)の皆さんから、町内の小学校にマスクが贈られました。  
マスクは、グループの皆さんがひとつひとつ丁寧に手づくりされたもので、学年に合わせて大きさも大小に分けられています。模様や色も様々で、子どもたちが楽しんで使えよう工夫されています。マスクは全部で277枚贈呈されました。  
学校への出入りが制限されている状況ですので、子どもたちにマスクを直接届けることはできませんでしたが、町教育委員会を通じ学校に配付されました。  
温かい心遣いに感謝いたします。

## 教育委員会生涯学習課 Facebook 始めました



教育委員会生涯学習課  
<Facebook ページ>

<https://www.facebook.com/edu.biratori/>

平取町教育委員会生涯学習課では、事業について皆さんに広くお知らせするため、Facebook を開設しました。  
QRコードをお手元のスマートフォンなどで読み取ると、さまざまな情報をご覧になることができますので、アクセスしていただければ幸いです。  
アカウント登録していない方は、ページにアクセスした後、表示下の「あとで」をクリックまたはタップしていただきますとご覧いただけます。

この度、平取町民体育館では公式ラインを作成しました。

## 平取町民体育館 公式LINE開設!



平取町民体育館公式  
LINE

## 交通安全!歩行中、 自転車走行中に事故多発

新学期を迎えたこの時期は、全国的に交通事故が多発します。児童は歩行中、生徒は自転車走行中の事故が多くなる傾向にあります。  
観光シーズンの到来とともに、ゴールデンウィークに向けて毎年町内の交通量が増加します。交通ルールを守り、交通事故に遭わないように十分注意しましょう。

これからは、ラインを使用して事業の案内や施設の一般開放にかかわる情報、年間4回発行している体育館だよりなどを皆さんに配信します。  
友だち追加するには、公式アカウント検索画面から「平取町民体育館」と検索するか、次のQRコードを読み取ると追加可能です。ぜひ、登録をお願いします。

# 後期高齢者医療制度について

## ○保険料の減免および一部負担金の免除

災害などで重大な被害を受けたときや、離職およびその他の特別な事情で生活が著しく困窮し、保険料を納めることが困難になった場合については、申請をして認められると保険料が減免となる場合があります。また、医療機関での窓口負担（一部負担金）についても広域連合の決定した額が減額または、免除となる制度があります。

## ○高額療養費支給申請

後期高齢者医療制度では、口座の申請をしていただくと以降生じた高額療養費が自動的に届けていただいた口座へ支給されます。高額療養費が発生していて口座の届がない場合は、北海道後期高齢者医療広域連合より、申請のご案内が送付されますので同封の返信用封筒にて郵送してください。また、口座の変更を希望される場合も、町民課保険医療係または、振内・貫気別支所の窓口へご連絡ください。

## ○医療費の負担

次のような場合は、医療費を一度全額お支払いいただき、窓口で申請をされ認定されると、本来の医療費自己負担分（1割または3割）以外が療養費として支給されます。

- ①ギプスやコルセットなど治療用補装具を購入したとき
- ②やむを得ず保険証を提示できずに診療を受けたとき
- ③医師が必要と認めたあんま・はり・きゅう・マッサージを受けたとき
- ④海外で診療を受けたとき

## ○高額医療・高額介護合算療養費制度

同じ世帯の加入者（被保険者）の方全員が、1年間に支払われた医療保険と介護保険の自己負担額の合計が一定の基準額を超えたときは、その超えた金額が『高額医療・高額介護合算療養費』として支給されます。支給の対象となる被保険者の皆さまには、お知らせをしますので、該当者は申請をしてください。

## ○交通事故などにあつたとき

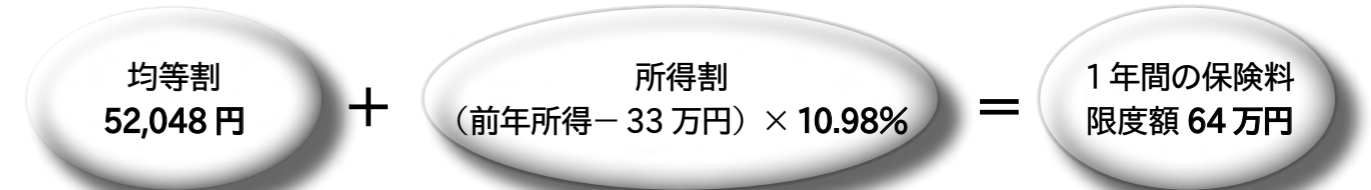
交通事故など第三者（加害者）の行為によってけがや病気をしたとき、本来、医療費は加害者が全額負担するのが原則ですが、損害賠償の都合などにより保険証を使って治療することができます。かかった医療費は、後期高齢者医療が一時的に立替え、後で加害者に請求することになります。

- まずは、警察に連絡しましょう  
必ず警察に連絡し、人身事故として『事故証明書』を出してもらいましょう
- 必ず市町村の窓口にも申請しましょう  
保険証、加入者（被保険者）の印鑑、『事故証明書』をもって、「第三者行為による被害届」の申請をしてください。

- 申請先 町民課保険医療係（ふれあいセンターびらとり内）  
役場支所（振内支所・貫気別支所）
- 問い合わせ 北海道後期高齢者医療広域連合（電話011-290-5601）  
町民課保険医療係（電話4-6113）

## ○保険料率が変わります

後期高齢者医療制度では、2年ごとに保険料率の見直しをします。令和2・3年度の新しい保険料率が決まりましたのでお知らせします。



- ・均等割＝被保険者が等しく負担。平成30・31年度は50,205円
- ・所得割＝被保険者の所得に応じて負担。平成30・31年度は10.59%
- ・限度額＝1年間の上限額。平成30・31年度は62万円

所得の低い方は保険料が軽減されています

### 均等割の軽減

被保険者と世帯主（被保険者以外も含む）の所得の合計で判定します。

所得が次の金額以下の世帯	軽減割合	年間の均等割額
33万円かつ被保険者全員が所得0円 (年金収入のみの場合、受給額80万円以下)	7割軽減	15,614円
33万円	7.75割軽減	11,710円
33万円 + (28万5千円 × 世帯の被保険者数) ※1	5割軽減	26,024円
33万円 + (52万円 × 世帯の被保険者数) ※2	2割軽減	41,638円

※1 平成31年度：33万円 + (28万円 × 世帯の被保険者数)

※2 平成31年度：33万円 + (51万円 × 世帯の被保険者数)

### 被用者保険の被扶養者であった方の軽減

後期高齢者医療制度に加入したとき、被用者保険の被扶養者であった方は、所得割がかからず、制度加入から2年を経過していない期間のみ、均等割が5割軽減となります。  
※所得の状況により均等割の軽減割合が7割、または7.75割に該当することがあります。

### 保険料の納め方について

保険料の納め方には、年金から保険料が引落される『特別徴収』と、口座振替や窓口で直接納付をする『普通徴収』があります。現在、年金から引落しされている『特別徴収』の方については、『口座振替』を選択することもできますが、『口座振替』へ変更を希望される場合は、申請が必要です。

※保険料の納め忘れによる未納が長期に渡り続きますと、保険証が交付されないことがあります。もう一度、納付状況のご確認をお願いします。

●保険料は税金の控除の対象になります●  
保険料は、所得税や個人住民税の社会保険料控除の対象となります。「年金引落し」によって納めている場合は、本人のみの控除対象となりますが、口座振替によって支払った場合は、本人以外のご家族の控除対象とすることもできます。

# 図書館へいこう

○開館時間 火～金曜日 9:30～18:00  
土・日曜日 9:30～17:00

○休館日 月曜日・祝日  
※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館



## 5月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						は休館日です

## 新着図書

### 【小説・エッセイ】

『MISSING 失われているもの』／村上龍  
『生きつづけるキキ ひとつの』／齊藤洋  
『魔女の宅急便』／城戸喜由  
『暗黒残酷監獄』／藤野可織  
『十字架のカルテ』／知念実希人  
『流人道中記』上下／浅田次郎  
『いつでも母と』／山口恵以子  
『晴れの日散歩』／角田光代  
『旅ごはん』／小川糸

### 【絵本】

『ぱかぱかもんちゃん』／とよたかずひこ  
『とりあえずありがとう』／五味太郎  
『こんなにすごいよ歯のやくわり』／北川チハル文 ながおかえつこ 絵  
『くすのきだんちのねむりいす』／武鹿悦子・作 末崎茂樹・絵

### 【医学・社会・家庭】

『乳がん病後のケアと食事』／佐伯俊昭  
『がんでも歩こう!』／大島和也  
『一目でわかる文章術』／石黒圭  
『中田翔 逃げない心』／平山譲  
『災害で消えた小さな命』／うさ  
『今こそ持ちたい手作りのエコバッグ』／ブティック社  
『大地よ! アイヌの母神、宇梶静江自伝』／宇梶静江

### 【児童書】

『いろどり屋』／廣嶋玲子  
『フラワーショップの亡霊』／齊藤洋  
『りんごだんだん』／小川忠博  
『しまふくろうの森』／前川貴行  
『おやくそくえほん』／高浜正伸  
『小中学生からはじめるプログラミングの本 2020年版』

## ◆ 新着 DVD のお知らせ ◆

### 【映画】

『家族はつらいよ2』／山田洋次監督  
『こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話』／大泉洋出演  
『日日は好日』／黒木華、樹木希林出演  
『パパはわるものチャンピオン』／棚橋弘至出演  
『羊と鋼の森』／宮下奈都原作  
『ボヘミアンラプソディー』  
『ワンダー 君は太陽』

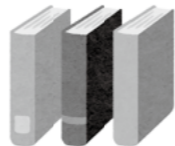
### 【アニメ】

『トイストーリー4』  
『シュガーラッシュ: オンライン』  
『アパローのプリンセスエレナ 大切な思い出』  
『リトルプリンス 星の王子様と私』

### 【その他】

『永遠のニシパ』／松本潤出演 (NHKスペシャルドラマ)  
※DVDの貸出期間は1週間です。

【問合せ先】 平取町立図書館  
TEL 01457-4-6666  
FAX 01457-4-6871  
メール risu2@guitar.ocn.ne.jp



# すこやかだより

## はーいすこやかだより 保健推進係です!

保健推進係には保健師と栄養士が配置されていて、町民の皆さんが健康で快適な生活を送るための事業を行っています。

『すこやかだより』は毎月、健康に関する情報をお届けします。今月は令和2年度に予定されている主催事業をご紹介します。

### 母子保健事業

#### ①産後ケア事業

1歳未満の赤ちゃんとお母さんを対象に、お母さんからのケアや子育ての相談・支援を行う事業です。助産師によるケアが受けられる、令和2年度の新規事業です。

#### ②乳幼児健診

小児科医、歯科医、歯科衛生士、心理士、保健師、栄養士等の専門スタッフによる健診です。お子さんの成長や発達の確認や、相談を受け付けています。

#### ③予防接種

水ぼうそう、麻疹風しんなどの予防接種です。対象者に案内しています。

#### ④親子教室

妊娠中からの変化や食生活について、2回シリーズで教室を開催します。お父さんの参加も大

## 歓迎です。

### ⑤歯科健診・フッ素塗布

フッ素は、歯の質を強くし虫歯予防に効果的です。1歳からのフッ素塗布が可能です。

### ⑥すくすくクラブ

5〜12か月のお子さんと保護者の方を対象に、ベビーマッサージと離乳食相談を行う教室です。親子がリラックスし、離乳食の悩み解決ができる場を提供します。

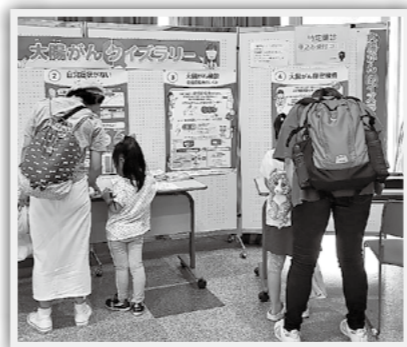
### 成人保健事業

#### ①特定健診・各種がん検診

6月・11月・2月の年3回、ふれあいセンター等で集団検診を実施しています。

札幌がん検診センター・札幌厚生病院・平取国民病院の3か所での受診も可能です。

毎年同じ時期に申込みの手間なく受診ができるよう「健診自動登録制度」を実施しています。



大腸がんクイズラリー

## ②40・50歳無料検診

今年度中に40・50歳になる方は「がん検診(胃・肺・大腸)」、「歯科健診」、「肝炎検査」が無料になります。また、平取町国民健康保険加入者は、特定健診が無料になります。対象の方には、自宅にクーポン券が届きますので、ぜひご利用ください。

### ③ひらひら健康づくり応援ポイント事業

平取町国民健康保険に加入されている40歳以上の方を対象に、食事・運動の生活習慣改善の取り組みを3か月継続できた方へ町内で使用できる商品券を贈呈する事業です。効果的な取組となるよう保健師・栄養士がアドバイスなどをさせていただきます。

### ④こころの健康相談会

専門の相談スタッフが、様々な心の健康のお悩みについて、相談をお受けします。ご本人の事だけでなく、お子さんやご家族の相談など、まずはひとりで悩まずご連絡ください。年8回開催される予定です。「まちだより」でご案内します。

### ⑤シニアエプロン

65歳以上の男性シニア達が奇数月の最終水曜日に、メニュー決定から調理、試食まで料理全般をみながら楽しみながら行う企画です。

す。料理が苦手な方でも興味があれば参加大歓迎です。



シニアエプロンサークルのみなさん

### ⑥冬場の健康づくり教室

冬場の運動不足解消を目的に、専門の講師によるヨガや太極拳、体幹トレーニングなどを行う教室です。

この他にも個別健康相談、育児相談、各団体への健康教育、不妊治療費助成などの事業を行っています。随時、ご相談もお受けしています。体幹トレーニングなどの教室を開きます。

【問い合わせ先】  
保健福祉課 保健推進係  
(ふれあいセンターひらひら)  
☎4・6112  
お気軽に問い合わせください。

## ※ 図書ワゴン運行予定 ※

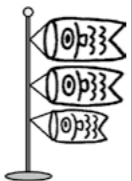
5月7日(木)

【振内地区】10:00～12:00 山の駅ほろしり館

【貫気別地区】14:00～16:00 貫気別生活館

■ 貸出期間は次回の巡回日までになります。

■ 毎月第一木曜日に運行します。



—— 感謝状を贈呈させていただきました ——



登建設工業(株) 代表取締役 登 孝志氏より、地域貢献活動として、ふれあいセンターびらとりと二風谷生活館の駐車場のライン引きをしていただきました。

登氏に町長より感謝状を贈呈しました。あたたかいご厚意に感謝いたします。

役場関係  
電話番号

- 平取町役場 ☎ 2-2221
- 総務課(代表) ☎ 2-2221
- まちづくり課 ☎ 2-2222
- 産業課 ☎ 2-2223
- 税務課 ☎ 2-2224
- 出納室 ☎ 2-2225
- 建設水道課 ☎ 2-2226
- 議会事務局 ☎ 2-2227
- アイヌ施策推進課 ☎ 2-2341
- 農業委員会・土地改良区 ☎ 2-2695
- 観光工商課 ☎ 3-7703

—— 寄附ありがとうございます ——

石川原 寛一さん(荷葉)より寄附をいただきました。あたたかいご厚意に感謝いたします。(石川原さんは感謝状の授与および、写真撮影を辞退されました)

今月のワンショット

紫雲古津小学校入学式(4/7)



ふれあいセンターびらとり  
☎ 4-6111

- 保健福祉課
- 保健推進係・福祉係 ☎ 4-6112
- 介護支援係・介護保険係 ☎ 4-6114
- 町民課 ☎ 4-6113
- 児童館 ☎ 2-3026
- 子ども発達支援センター ☎ 2-3400
- 地域包括支援センター「ほほえみ」 ☎ 2-3700
- 図書館 ☎ 4-6666

まちの人口と世帯数

	人口	世帯数	(前月比)
人口	4,863 人	2,499 世帯	(- 74 人)
男	2,364 人		(- 44 人)
女	2,499 人		(- 30 人)
世帯数		2,499 世帯	(- 24 世帯)

※3月末現在の住民基本台帳による

檜の実吟社 俳句

家解体早くも下萌らしきもの  
文机一輪ざしの猫柳  
ウエストの捻り楽なり春衣  
今日も又頭を捻り春を待つ  
子狐に先導される家路なり  
カンジキと杢の過去吊る納屋の釘  
雛壇のあられ摘まむやちっちな手  
惜別の少女の肩に春の雪  
猫柳揺れる枝は鳥の声  
クシヤミ飛び老犬びびる冬の居間  
路のたう捻って摘めり南土手  
子だくさん厚き亡父の手捻り餅  
九十路こえてコロナに惑う春

井内 青風  
内海 綾子  
遠藤 紫光  
川上 八重子  
熊谷 厚子  
柴田 紫梢  
千葉 俊子  
長野 新一  
中道 サト  
道政 サツ子  
山崎 喜峰  
吉野 千佳  
渡辺 正子



有料広告募集中!



ホームページ QR コード